

# 京都さつきNEWS

Vol.13

京都さつき法律事務所報 第13号 2009(平成21)年1月25日発行

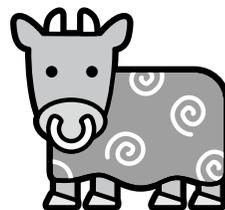
発行人 京都さつき法律事務所 〒604-0931 京都市中京区河原町二条西入る榎木町95番1 延寿堂ビル2階

TEL 075-257-3361 FAX 075-257-3371 E-mail: info@kyoto-satsuki.jp HP: http://kyotosatsuki.xtr.jp/

編集責任者 山下信子

## 2009年新年号

2009年がみなさまにとって良い年になりますように。  
今年もよろしくお祈りします。



2009年正月 京都さつき法律事務所一同

## 近況報告

弁護士 山下信子

### 【さつき読書館】

多くの弁護士の例に漏れず、  
山下も活字中毒です。いつも何  
かしら読んでいないと座りが悪

い。帰宅してからの読書はもち  
ろん、昼食は新聞か雑誌を読み  
ながらですし、手近に読むもの  
がないときは、薬の効能書きを  
読んでみたり、電車の吊り広告

を暗記してみたり…。

「仕事でたくさんの書類を読む  
のに、夜まで読書して疲れませ  
んか？」とはよくある質問です  
が、事件記録と一般書とでは、  
脳の使う部位が違うようで、読  
書は精神安定のための必須アイ  
テムです。

そこで、「さつきシネマ菅」な  
らぬ「さつき読書館」を、とき  
どき？書いてみたいと思います。

最近、やはり経済本です。  
『強欲資本主義ウォール街の自  
爆』、『サブプライム後に何が起  
きているのか』、『サブプライム  
問題の正しい考え方』、『21世  
紀の富国論』、『戦後日本経済史』  
(読書家のウッチーに借りました)、  
『週刊ダイヤモンド 銀行・  
証券氷結』(これもウッチーに



修習生謝恩会にて

借りた) 等々。

並べてみれば、新聞の書評やジュンク堂の新刊書コーナーの手近な本ばかりです。が、一気に悪化し、弁護士の仕事の種類も変えてきている最近の経済情勢の原因を、手っ取り早く知りたいのが人情なのです。

読んでみて、サブプライムローンのこと、米国の経済危機がどのようにして起こってきたのかがよくわかりました。

サブプライムローンについては、低所得者向けローン、通常の住宅ローンの審査に通らないような信用の低い人向けのローンと説明されますが、たとえば、「5年以内に破産宣告を受けた人」、「過去24ヶ月以内に抵当権実行、債務免除」、「返済負担率50%以上」などが、サブプライムローンの審査の「ガイドライン」だったというのです。日本では、過去に破産した経歴があるとブラックリストに載り、住宅ローンの借入を受けられないと言うのが常識ですから、正反対ですね。これが、格付け会社の評価を経て証券化されることにより、住宅バブルを招来させていたのですから、まさに虚像というべきでしょう。

危機に陥ったシティバンクに救済資金を提供したのが、中東諸国の国富ファンドだったというのも、興味深い情報でした(以前は、米国は、アメリカの企業への巨額の投資を政治的に警戒していた)。

これら現象を踏まえて、どの書物も、物づくりの大切さ、実像を確認して取引する基本を踏まえることの大切さ、を言うようになっています。

というようなことを読んで、山下の年頭の抱負は〜①本業から目をそらさずに地道に努力する企業の法律顧問でありたいということ、②本業に地道に邁進する弁護士であろうということ、です。

今年が皆さまにとって良き年になりますように。さつき事務所を今年もよろしくお願ひします。



さつき事務所のお正月〜いただいた柿右衛門と絵画

## 近況報告

弁護士 内村和朝

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。

### 【さつき読書館〜内村編】

弁護士生活も4年目になりましたが、目まぐるしい日々を送っており、書籍を購入しても読む時間がなく、未読の本が溜まる一方ですが、正月休み等の長期休暇にまとめて読もうと考えています。

特に、最近旅行に出掛けていませんので、旅を題材にした本をよく読んでいます(旅を題材

にした本を読むことで、旅をした気分を味わっているともいえます)。

最近読んだものの一つに『民法風土紀』(講談社学術文庫、中川善之助著:民法学者で東北大学名誉教授)があります。紀行文の要素もありますし、大正・昭和初期の各地の風習、戦前の法制度(戸主なんて言葉も出てきます)の説明があつたりと興味深い本でした。家族法について興味がある方にはおすすめです。

### 【法曹サッカー全国大会】

ところで、仕事に追われつつも、毎回参加している行事があります。それは、毎年秋に開催される法曹サッカー全国大会です。これは、弁護士、裁判官、裁判所職員、検察官など法曹関係者が各地域別にチームをつくり、トーナメント方式等で戦うというものです。

京都は単位会・裁判所の規模の割にサッカー好きが多く(キャプテンの人望+チームの仲が良いということも参加者が多い理



シュートを放つ内村

由かもしれません) 毎年2チームを結成して全国大会に参戦しています。

京都チームは一昨年の大会(広島大会)で優勝し、このまま連覇を重ね一時代を築こうと目論んでいたのですが、法曹サッカー全国大会のレベルは年々アップしており中々そうはいきません。東京・大阪はそもそも大規模単位会でサッカーのレベルは相当高いですし、中には元Jリーガーの弁護士もいたり、そこらの草サッカーチームよりは強いチームが大半です。

私は、一昨年の広島大会ではMFとして出場させてもらい優勝の美酒を味わいましたが、昨年は、惜しくも準々決勝で名古屋チームに敗れてしまい、悔しい思いをしました。

今年は、優勝を奪還することを目指してチーム編成をし、ベテランチームとヤングチームに分けて出場しました。なお、ベテ

ランチームの最年長は50歳! の大台を超えた神戸地裁の裁判官です(今もそうですが、若かった頃は相当巧かったはず)。

私は、ベテランチームのMFとして出場しました。年齢的と弁護士歴的にはベテランと言いくらいのように思いますが、最近では体力の低下による持久力不足を露呈するようになりましたし、ここ数年サッカーが巧い修習生が多く、やはり私の出場機会はベテランチームでしかないようです。

結果ですが、ヤングチームは16チーム中5位、ベテランチームは12位でした。ヤングチームに戦力を集中させましたので5位という結果は予想外でした。まあ来年に期待です(また、新しい修習生も加入しますし)。ベテランチームは限られた戦力の中でよく健闘したと思います。私にもヘディングでの得点チャンスがあったのですが、ゴール

バーを超えてしまいました(やはりヘディングシュートの基本は叩き付けることです)。

大会後の感想ですが、やはりサッカーは走るスポーツだなということを改めて感じました。私自身テクニック面での伸張は望めない年齢になってきましたが、低下が著しい走力については、トレーニングによって上積みを目指そうですので、走力アップを今後の目標にしたいと思います(家庭内では夫婦でジムへ入会する話も浮上しております)。

これでも大学時代はラクロス部に所属しており関東学生リーグで準優勝した経験もありますし、高校時代もインターハイに出場した経験もあり、体力に自信があったのですが、もはや見る影もありません。これからは節制して残りの選手人生を全うしたいと思います。

# 事務局のまど

## 天地人

戦国武将上杉景勝の家老、直江兼続が注目されてきています。徳川家康に喧嘩を売った「直江状」は、無謀とはいえ爽快感があります。私の実家は上越に近しいことなどもあり、元々親近感

があったのですが、こういった知る人ぞ知る人物が注目されることは、自分には何の関係もないのに、少しうれしい気持ちになります。

### 三澤孝一 事務員

## さつき シネマ管 菅佐知子 事務員

## 静かな生活

大好きな小説や漫画が映画化されたら??

そんな時は余程のことがない限り、その映画は観に行きません。どうしても完成した映画は自分が持っていたイメージとは違ったりするわけで、消化不良になってしまう場合が多いからなんです。

今回ご紹介する映画は、それに反して映画を観た後、また原作を読みたくなったものです。大江健三郎氏原作の「静かな生活」(監督：伊丹十三)という映画です。原作の小説も映画も有名ですし、ご覧になられた方は多いのでは??

知的障害を持つ主人公マーちゃんの兄“イーヨー”を中心に、ある夏の日々がマーちゃんの視点で淡々と描かれています。

家族や周囲の人の優しい“イーヨー”へのまなざしが、障害を当たり前のもので受け入れている表れのような気がします。映画の中の生活は決して静かな生活ではありません。それでも



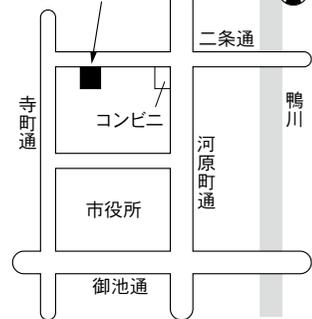
最後にマーちゃんが書いた一夏の絵日記のタイトルをイーヨーに尋ね、イーヨーが静かな生活ですと答えるシーンは、うまく言葉に出来ないのですが、優しい気持ちになれると思います。

メイキングの中で“イーヨー”のモデルとなった大江光さんが、渡部篤郎扮する“イーヨー”を見て、「あれは僕なんですよ」とおっしゃったのが、とても印象的でした。それくらい彼の演技は素晴らしいもので、その後わたしが彼のファンになったのは言うまでもありません。

2009年に入りあつという間に1ヶ月経ちました。今年は古い映画をたくさん観ようと思っていますがどうなることやら。本年もどうぞよろしくお祈りします。

## 事務所へのアクセス

京都さつき法律事務所  
(延寿堂ビル2階)



河原町通二条の交差点を西へ入り、少し行った南側、漢方薬局「延寿堂ビル」の2階です。

交通機関は、地下鉄東西線又は市バス「市役所前」から歩いて5分弱、京阪三条駅から歩いて10分程度。

お車でお越しの際は、事務所専用の駐車場は設けておりませんので、付近の駐車場をご利用ください。

〒604-0931

京都市中京区河原町二条西入る  
榎木町95番1 延寿堂ビル2階

京都さつき法律事務所

電話 075-257-3361

FAX 075-257-3371

## 編集後記

いつも心のこもった賀状やさつきニュースの感想をいただきます。離婚後の新生活について詳しいお便りを下さる方、お子さんやお孫さんの大学合格を知らせて下さる方、人を憎むことから解放された喜びを語って下さる方、人の輪の中で生かされていると語る方、PTSDに苦しみながら前に進もうとしている方、十数年前の依頼者からは老老介護が始まるとの近況報告...お便りに感謝し幸せを祈らずにいられます。さつきニュースを通じ皆さまとつながっていると感じるひとときです。今年も一緒にごんばりましょう。